

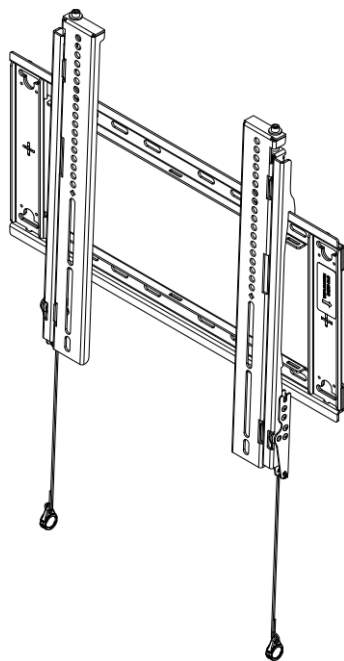
取扱説明書

CHIEF®

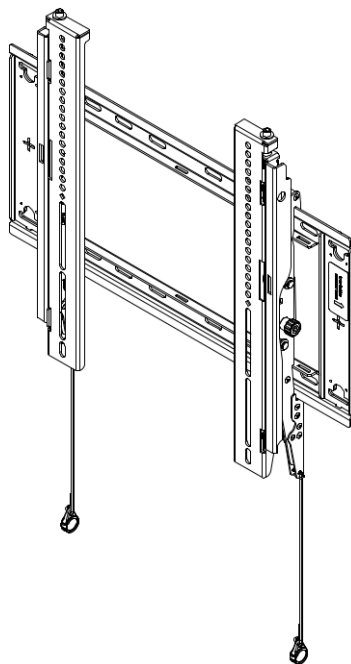
A brand of  legrand

壁掛ディスプレイマウント

型番：RMF3 / RMT3



RMF3



RMT3

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。


必ずお守りください。


設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。






販売店様、工事店様へ

- お客様の安全のため、傾斜のない平らな場所に設置してください。
- ディスプレイを取り付ける際は必ず2名以上で行い、ケガや事故の無いように注意して設置してください。
- 取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。

安全上のご注意

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生可能性がある内容を示しています

-  **警告**：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。
-  **警告**：取り付けしているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。
-  **警告**：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。
-  **警告**：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定しているようにご確認ください。またケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。
-  **注意**：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設置の前に**■設置場所について**

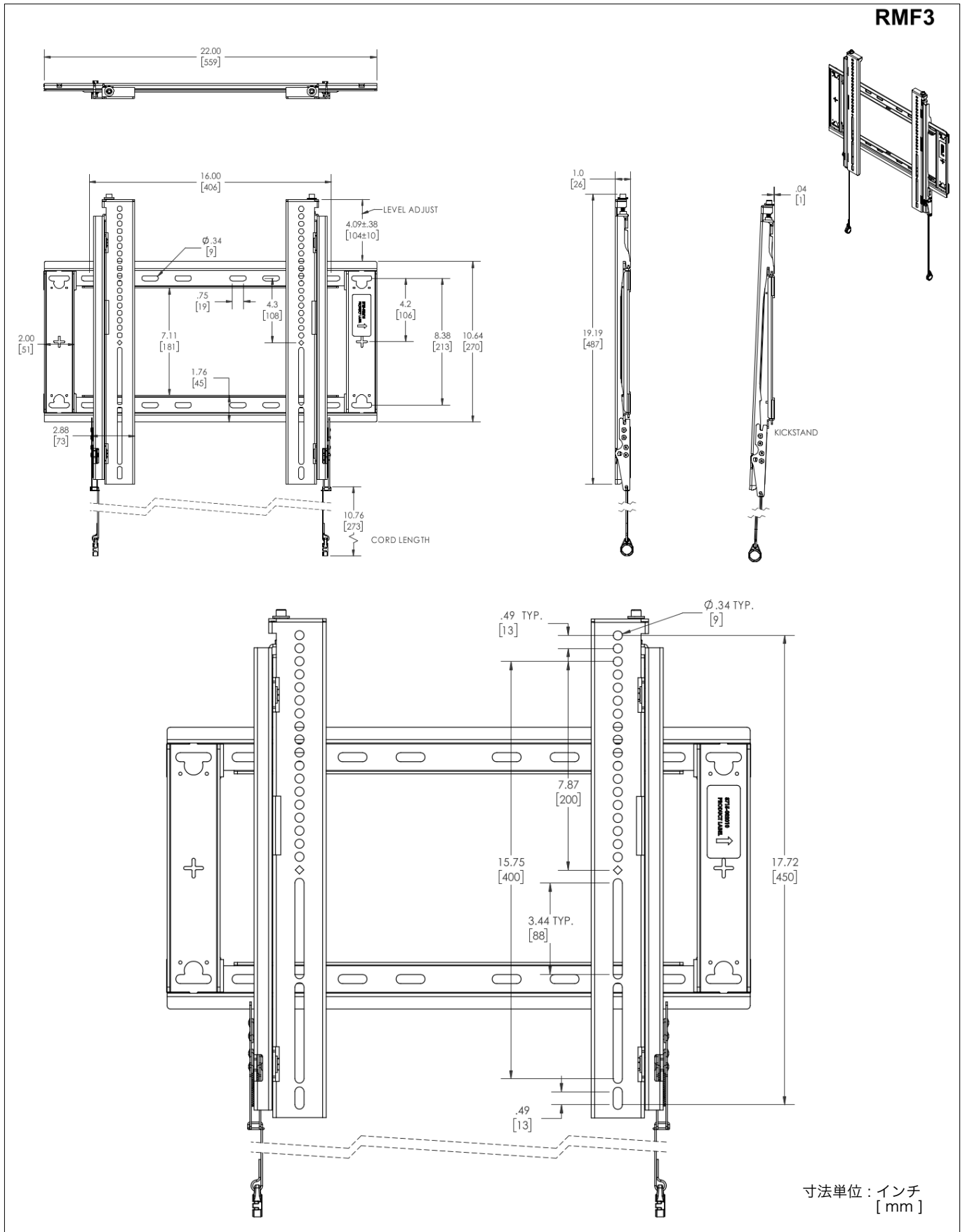
- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

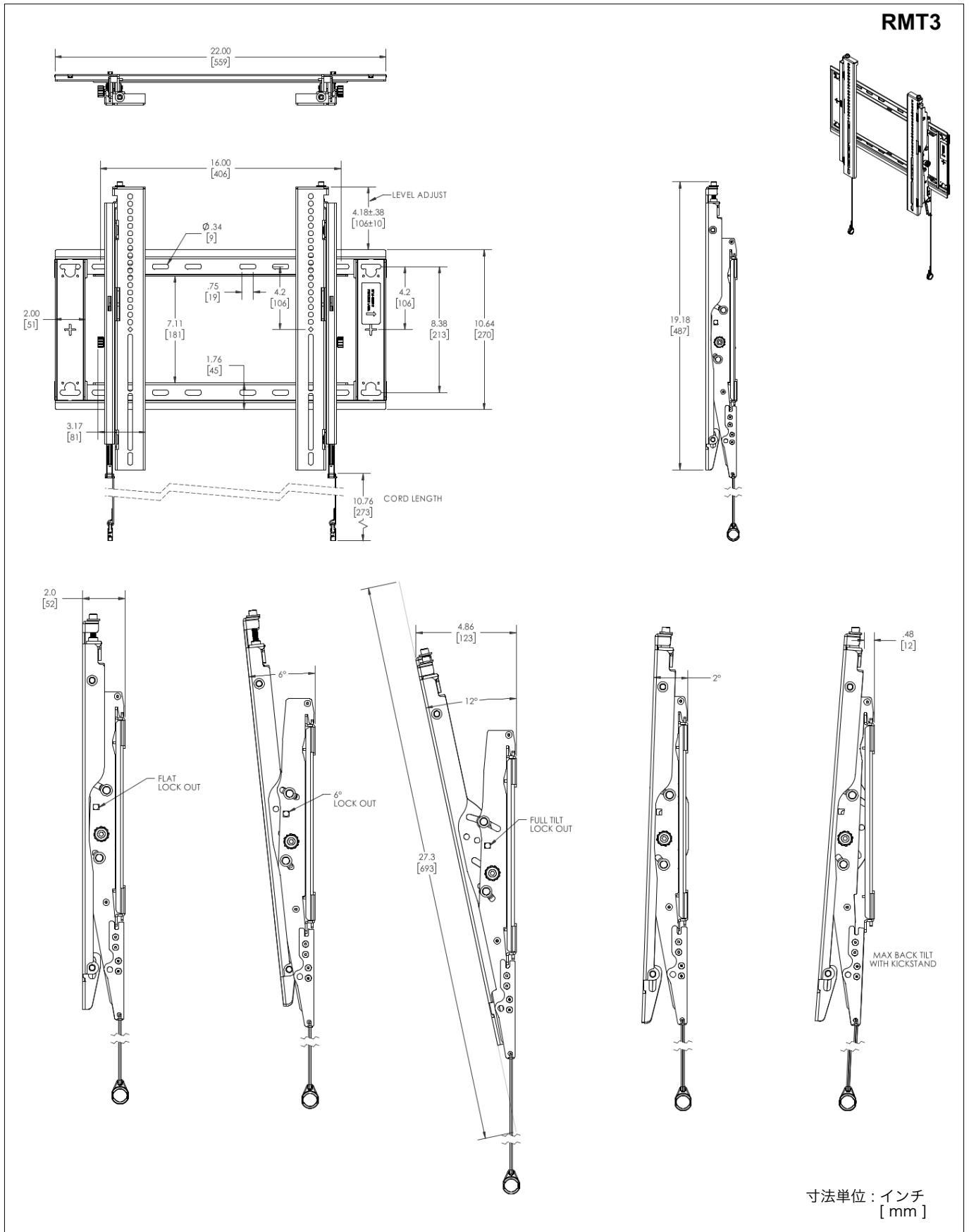
■設置方法

1. 本製品を組み立てるネジ等は、付属品を用い、十分な強度を持ったものをご用意ください。
2. 本取扱説明書の安全上の注意の設置場所についてよくお読みのうえ、ディスプレイスタンドの適切な設置場所を決めてください。
3. 本製品の組み立てに際してビス固定する場合は、先に仮止めしてから本締めをしてください。
4. 取り付けることができるディスプレイおよびアクセサリーのトータルは56.7kgを超えないようにしてください。
5. 本製品に取り付けることができるディスプレイサイズの目安はおおむね32～65インチです。

■各寸法図



■各寸法図



組立手順

■本体の組立に最低限準備いただく工具

#2
 7/32" (5.5mm) 木製の補強に固定する場合
 3/8" (9.5mm) コンクリート固定の場合
 3/16" x 10"

壁面への固定には壁の材質に適した部材を別途ご用意ください

■本製品の封入物

ハードウェアボックス同梱
(ネジパック)

A (4) M4x12mm	B (4) M4x20mm	C (4) M4x25mm	D (4) M5x12mm	E (4) M5x20mm	F (4) M5x25mm	G (4) M6x12mm	H (4) M6x20mm
I (4) M6x25mm	J (4) M8x12mm	K (4) M8x20mm	L (4) M8x30mm	MA (8) ネスティング スペーサー	MB (4) ユニバーサルワッシャー		

壁固定アンカー類
(専門の取付業者により、壁材に合わせ適切な固定具をご使用ください)

N (4) 5/16 x 2-1/2"	P (4) UX10x60mm	Q (4) スロットワッシャー ハードウェアボックス同梱 (ネジパック)
------------------------	--------------------	---

傾斜角固定ビス・ナット

Y (2) 1/4"-20	Z (2) 1/4"-20 x 1"
------------------	-----------------------

ハードウェアボックス同梱
(ネジパック)

R (1)
3/16"

ハードウェアボックス同梱
(ネジパック)

固定式ブラケット
(RMF3)

S (1)
左用

OR

T (1)
右用

角度調整式ブラケット
(RMT3)

U (1)
左用

V (1)
右用

X (1)
RMF3 / RMT3 壁マウント

■本製品の組み立てと壁への取付け

本製品は、20cm厚コンクリート壁、またはツーバイフォー木材、スチールスタッド（40cmスパンまたは60cmスパン）、厚さ12mm（最小）～16mm（最大）の乾式壁面（要補強）に取り付けることを想定して設計されています。

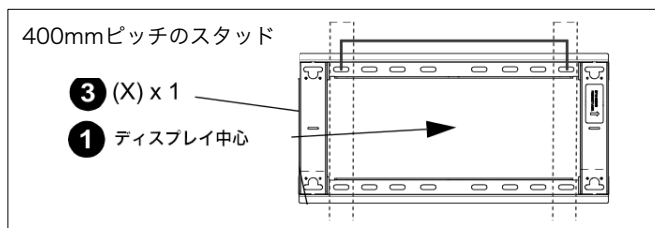
⚠ 警告：不適切な設置は、マウントの落下による深刻な人身事故や機器の破損を招く恐れがあります。

設置・施工業者の責任においてマウントを取り付ける構造物が、マウントに取り付けられているすべてのコンポーネントの合計重量（56.7kg 以内）の5倍を支えることができることを確認し必要に応じて適切に補強してください。

⚠ 注：壁の取付に際しては「木製スタッド壁への設置」、「スチールスタッド壁への設置」、または「コンクリート壁への設置」のそれぞれの項に進んでください。

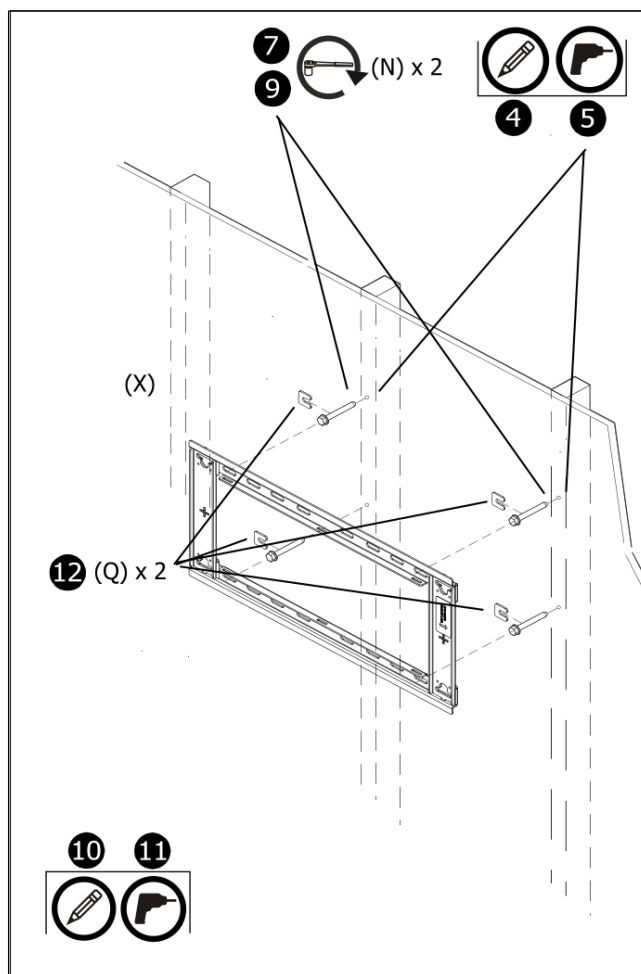
■木製スタッド壁への設置

1. テレビ画面の中心を決め、壁のどこに設置するかを決めてください。
2. テレビ画面の中心に最も近いスタッドを探し、選んだ位置の左側と右側に最も近いスタッドを探してください。
3. マウント (U) の 4 つのスロットを、事前に特定した 2 つのスタッドに合わせてください。(図1参照)



【図-1】

1. 以下の表を参考にして、床面からディスプレイの中心までの適切な高さを選び、かつ、使用するディスプレイブラケットに合わせて、アップライト (B および G) の組み立てに使用する穴を決定します。
2. 4本の 1 / 4-20 x 1/2 "プラスチックネジ (S) を使用して、上部支柱 (B) を下部支柱 (G) に固定してください。(図1を参照)
3. 2本の 1 / 4-20 x 1/2 "フラットヘッドネジ (U) を使用して、長いスペーサーブラケット (H) と短いスペーサーブラケット (J) を垂直支柱 (B) に固定してください。(図2を参照)



【図-2】

10. 下部の取り付けスロットの取り付けポイントに印を付けてください。
取付位置がスタッド上にあることを確認してください。(図2参照)
11. 下部取り付け穴の印のところに 7/32" (5.5mm) のパイロット穴を開けてください。(図2参照)
12. 5/16 x 2-1/2" フランジ付きラグボルト (N) 2 本と 5/16" スロットワッシャ (Q) 2 個を使用し、下部の取り付け穴からマウントを壁に取り付けます。(図2参照)
13. マウント (U) をスクリーンのおおよその中心位置にスライドさせてください。
14. インターフェースブラケットのディスプレイの取り付けセクションに進んでください。

■スチールスタッド壁への設置

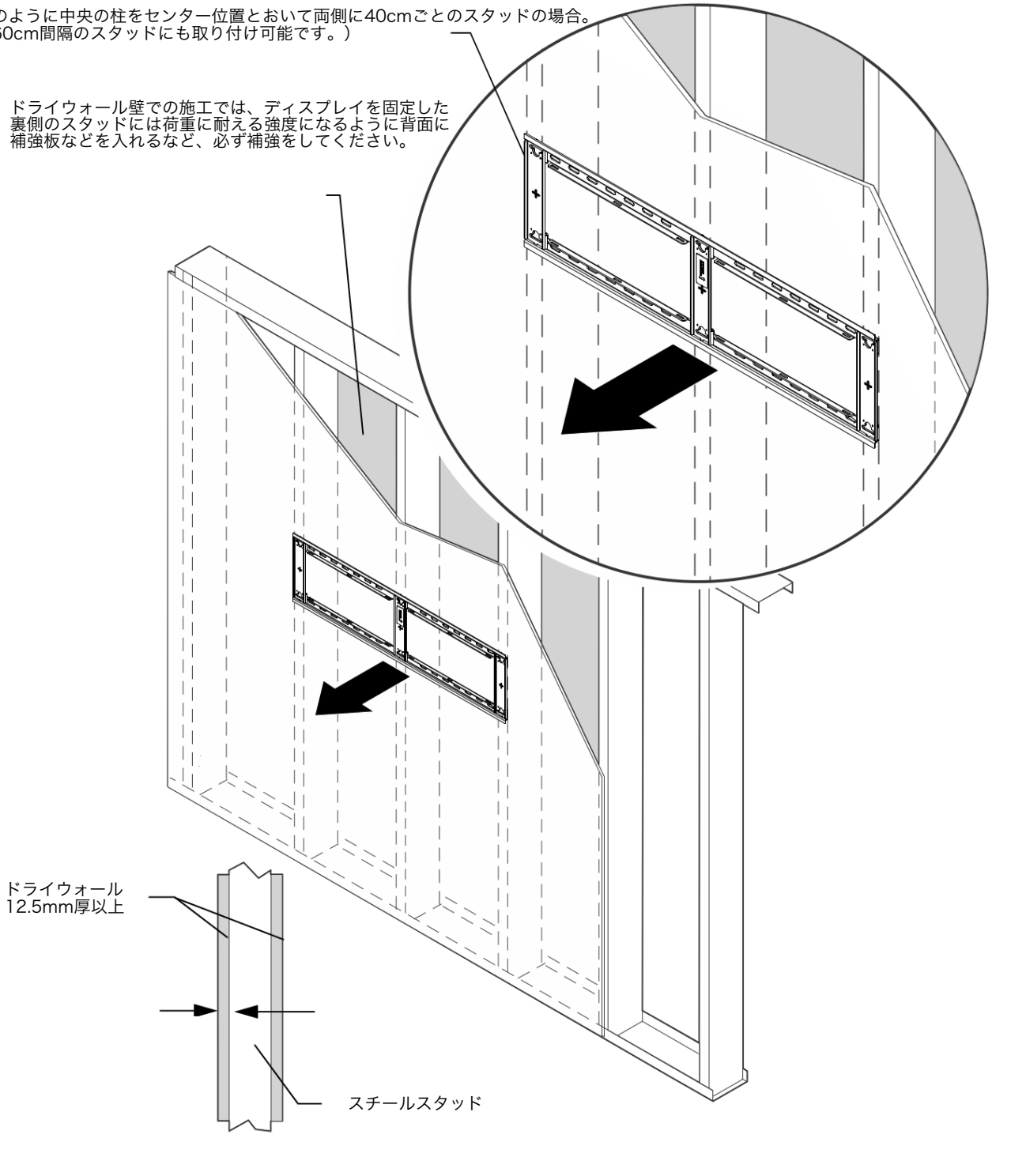
⚠ 警告 : 不適切な設置は、装置の落下による重大な人身事故や装置の損傷につながる可能性があります。または装置の損傷につながります。下図は、ディスプレイマウントをスチールスタッド構造の壁面に設置するための最低条件を示しています。

構造またはそのコンポーネントがこれらの要件を満たさない場合は、別途補強工事をしてください。

また、同一スタッドに荷重がかかるような他の機器を取り付けないように注意してください。

図のように中央の柱をセンター位置において両側に40cmごとのスタッドの場合。
(60cm間隔のスタッドにも取り付け可能です。)

⚠ ドライウォール壁での施工では、ディスプレイを固定した裏側のスタッドには荷重に耐える強度になるように背面に補強板などを入れるなど、必ず補強をしてください。



【図-3】

■ドライウォールへの取付（スチールスタッド補強）

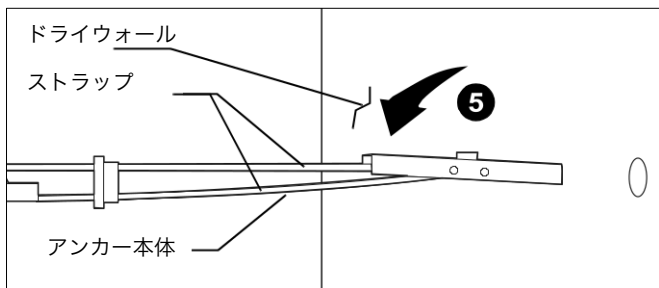
⚠ 注：本製品をスチールスタッド壁に取り付けるために必要な固定金具類は、このキットには含まれていません。

- 1) 1/4-20 トグラースナップトグル BB (数量 4)
- 2) 1/4- 20 x 2-1/2" プラスネジ (数量 4)、
- 3) 1/4 ワッシャー (数量 4)

参考として、上記のようなファスナーを用い、壁の材質や特性にあった固定方法を採用してください。

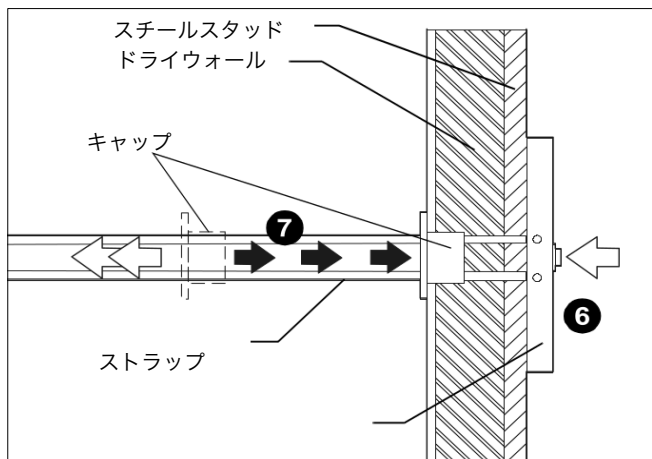
⚠ 注：固定穴は、マウント (U) 中央の灰色の部分の両側に等間隔に配置する必要があります。

1. 壁に取り付けたい場所を確認してください。
2. マウントの取り付け穴をスタッドに合わせ、取り付け穴がスタッドの中心にあることを確認してください。
3. 壁にある4つの取り付け穴の位置をマークしてください。(図2参照)。
4. 4箇所の1/2" (13mm) 穴を開けてください。
5. 金属製チャンネルをプラスチック製ストラップと平行にアンカーに固定し、チャンネルを穴に通してスライドしてください。(図4参照)。



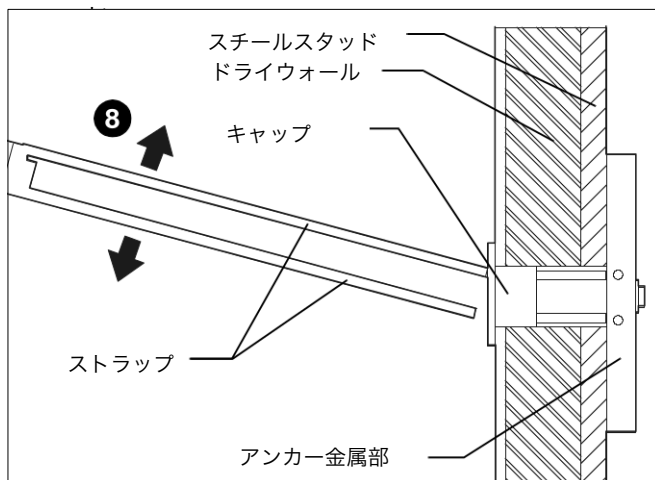
【図-4】

6. プラスチックストラップをアンカーにかけたまま、アンカーを壁から離し、アンカーチャンネルがスタッドに垂直に置かれていることを確認し、チャンネルが壁の裏側に平らになるようにしてください。(図5参照)
7. アンカーのプラスチック製キャップを壁に向かってスライドさせ、キャップのフランジが壁と同一平面になるようにしてください。(図5参照)



【図-5】

8. アンカーのプラスチック製ストラップを左右に押しながら、プラスチック製キャップのフランジと同じ高さになるように折り曲げて外してください。(図6参照)
9. 手順5から8を各取付穴について繰り返してください

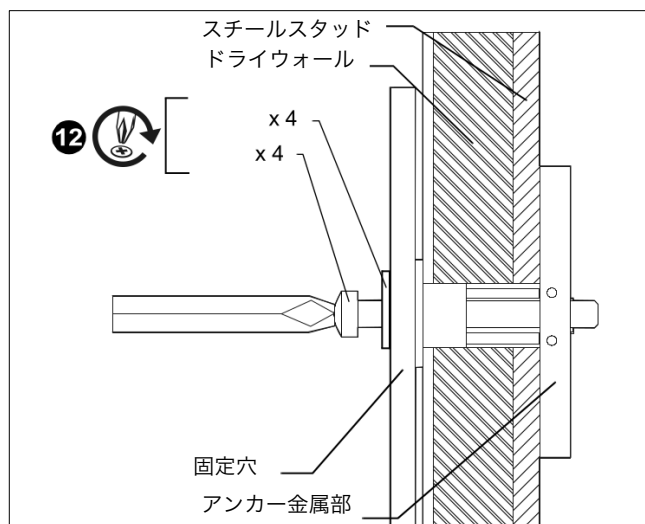


【図-6】

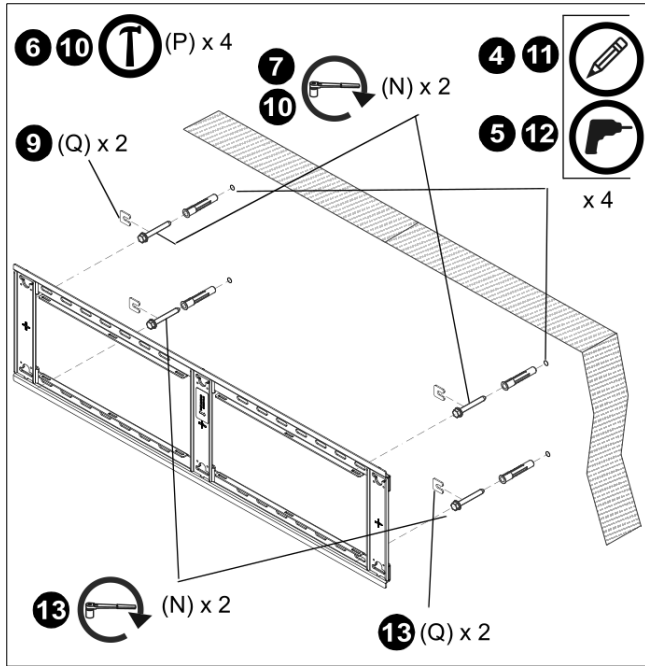
10. マウントをアンカーの上に置き、ディスプレイマウントの取り付け穴をアンカーの穴と合わせてください。(図7参照)
11. 1/4-20 x 1-3/4" プラスねばねじに 1/4" (6.3mm) 平ワッシャーを取り付けてください。
12. 平ワッシャー付きプラスネジを壁掛け金具の取り付け穴からアンカーに挿入し、金具と同じ高さになるまで締め付けます。このとき締め過ぎないように注意してください。(図7参照)
13. 残りの取り付け穴についても、手順10から12を繰り返してください。

⚠ 警告：取り付けが不適切な場合、装置が落下し、重大な人身事故または装置の損傷を招く恐れがあります。

取り付け金具を締めすぎると、スチールスタッドが損傷することがあります。取り付け金具を締め付け過ぎないでください。



【図-7】



【図-8】

■ コンクリート壁への設置

1. テレビ画面の中心を決め、壁のどこに設置するかを決めてください。
2. マウント (U) の水平スロットを画面の中心マークに合わせ、垂直方向の中心を決めてください。(図8参照)
3. 中心点から 4.2 インチ (106mm) の距離を測定し、上部取り付けスロットの位置をマークします。
4. 水平器を使用して、両方の上部取り付けスロットを通る壁に印を付けてください。(図8参照)

ラグ・ボルト間の水平方向の最短距離は406.4mmです。ラグ・ボルトの間隔は、406.4mm (16インチ) 以内にしてください。

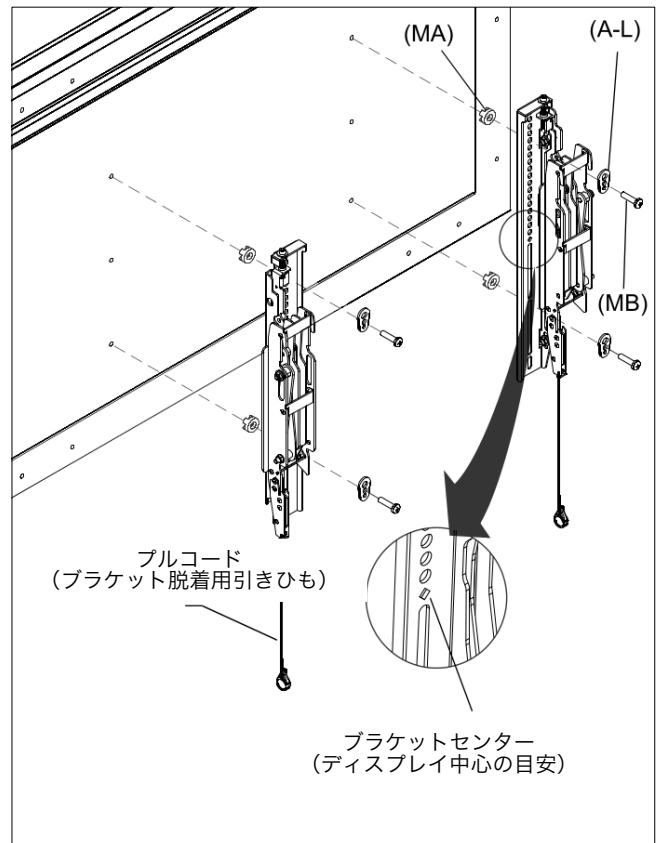
5. 3/8" x 3-1/2" (9.5mm x 88.9mm) の下穴を各マーキングに開けてください。
6. アンカー (P) をそれぞれの下穴にハンマーで取り付け、アンカーが壁と同一平面上にあることを確認してください。
7. 3本の 5/16 x 2-1/2" フランジ付きラグボルト (N) を下穴に部分的に取り付けますが、壁には締め付けしないでください。
8. ラグボルトの上に合わせ、適切な位置になるように左右に調整してください。
9. フランジ付きラグボルトの上に溝付きワッシャー (Q) を1つつ配置してください。(図8参照)
10. ラグボルトを締め、マウント (U) を上部の取り付けスロットで壁に固定してください。
11. 下部の取り付けスロットの取り付けポイントに印を付け、取り付けポイントがスタッド上にあることを確認してください。
12. 下部の取り付け穴の印に 3/8" x 3-1/2" (9.5mm x 88.9mm) の下穴を開けてください。(図8参照)

13. アンカー (P) をそれぞれの下穴にハンマーで取り付け、アンカーが壁と同一平面になるようにしてください。
14. 5/16 x 2-1/2" フランジ付きラグボルト (N) 2本と 5/16" スロットワッシャー (Q) 2個を使用し、マウントを下部の取り付け穴から壁に取り付けてください。(図8参照)
15. マウント (U) をスクリーンのおおよその中心位置にスライドさせてください。

■ ブラケットをスクリーンに取り付ける

1. ブラケット (S と T) の中心をスクリーンの中心に合わせてください。(図9参照)

⚠ 注：ブラケットの菱形の穴は、おおむねマウントの中心に対応していますので、目印としてご利用ください。



【図-9】

⚠ 警告：不適切な取り付けは、ディスプレイの落下による重大な人身事故や損傷の原因となることがあります。

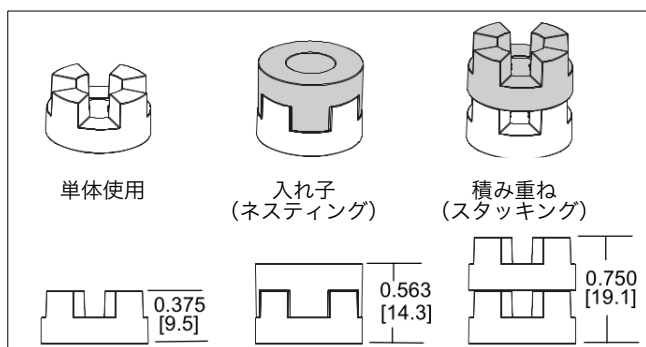
不適切なサイズのネジを使用すると、ディスプレイを損傷することがあります。適切なサイズのネジは、ディスプレイの取り付け穴に簡単かつ完全にねじ込むことができます。スペーサーが必要な場合は、必ず同じ直径で長いネジを使用してください。

⚠ 警告 : ディスプレイにネジを取り付ける場合はディスプレイが破損することを防ぐため、インパクトドライバーなどで必要以上のトルクをかけて締めすぎることのないようにしてください。

ネジピッチに適正なドライバーで手締めできる範囲か、ディスプレイメーカーが締め付トルクを指定している場合それに従ってください。

- ハードウェアバッグ (A-L) から正しいネジを選択し、必要に応じてネスティング (入れ子式) スペースャー や、ユニバーサルワッシャーを選択し、ブラケットをスクリーンの背面に取り付けます (図 9 を参照)

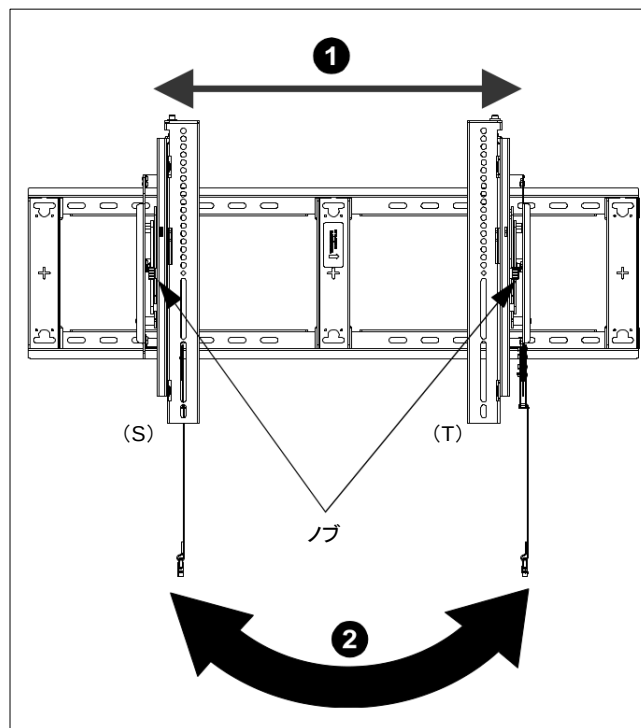
重要! : M8 ネジにはワッシャーは必要ありません。M4、M5、M6ネジの場合のみ、ユニバーサルワッシャー (M B) を使用します。



【図-10】

⚠ 注 : ネスティング (入れ子式) スペースャー (MA) は、別々に使用することも、2個を異なる構成で組み合わせて異なる厚みのスペースャーを構成して使用することもできます。(図10参照)

■インターフェースブラケットの付け替え (必要に応じて)



【図-11】

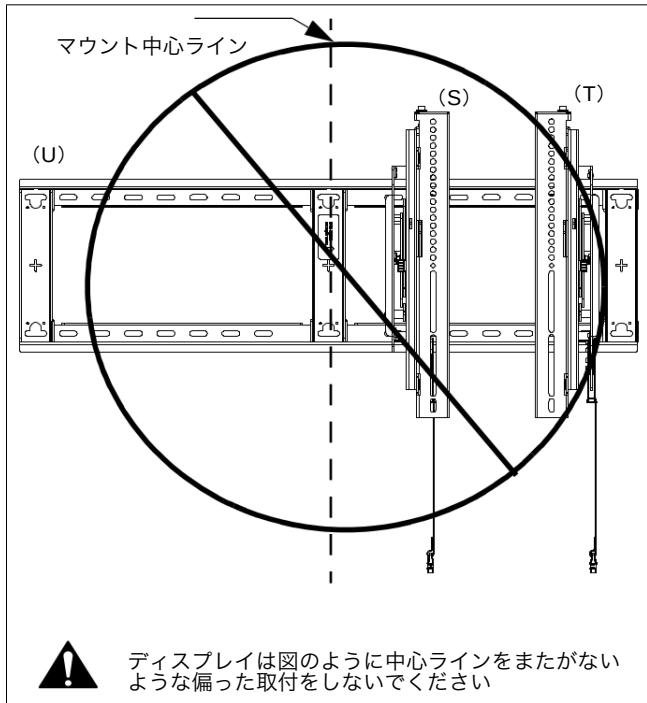
ディスプレイに隣接する構造物と接触してしまうなど、設置状況の都合により、インターフェースブラケットの位置を調整する必要がある場合、いくつかの操作方法があります。

- 壁面ブラケットは、取り付け位置を左右方向に微調整することができます。(図11参照)
- 左右のインターフェースブラケット (S、T) の配置

左右のインターフェースブラケット (S、T) の位置を入れ替え、傾斜角度調整機構の固定ノブをマウントの内側に向けて設置することも可能です。(図11参照)

■ スクリーンを壁マウントに取り付ける

⚠ 注：インターフェースブラケット (S と T) の両方を、壁面マウントの中心線の片側に配置しないでください！ 荷重バランスが著しく崩れます (図 12 参照)



【図-12】

1. インターフェース・ブラケットが完全に折りたたまれ (図16参照)、前方に最大 10°傾いていることを確認します。(図15参照)

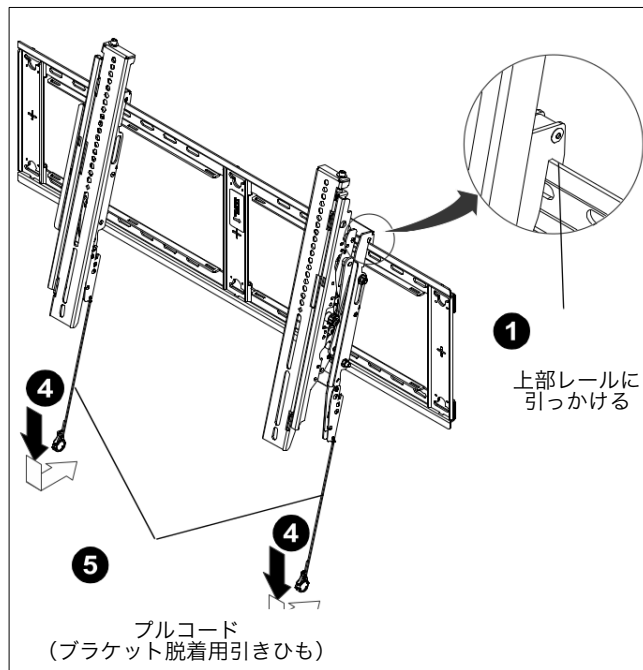
⚠ 注：マウントにひっかける際に、ディスプレイの上部が壁面に接触すると作業がしにくいので、傾斜が効いた状態で取り付けるとやりやすく、引き出し機構はひっこめておいた方が距離感がつかみやすいです。

2. スクリーンをマウント (U) の上部レールに吊り下げます。インターフェースブラケット (S と T) の上部フックをマウント (U) の上部レールに掛けてください (図 13 参照)。
3. スクリーンとレールを希望の表示位置に調整します。
4. ケーブルを壁とレールの間に配線します。

⚠ 注：ブラケットを可動する際挟まれる可能性があります。指や手、ケーブルが挟まれないように注意してください。

5. プルコードを引きながら「カチッ」と音がするまで壁に向けながら下方に引き、インターフェースブラケットを下部レールに引っ掛けるようにして、スクリーンの下部をマウントに固定してください。(図 13 参照)。

6. プル・コードの端 (マグネット) を、スクリーンの底からはみ出さないようにマウントに取り付けてください。(図 13 参照)

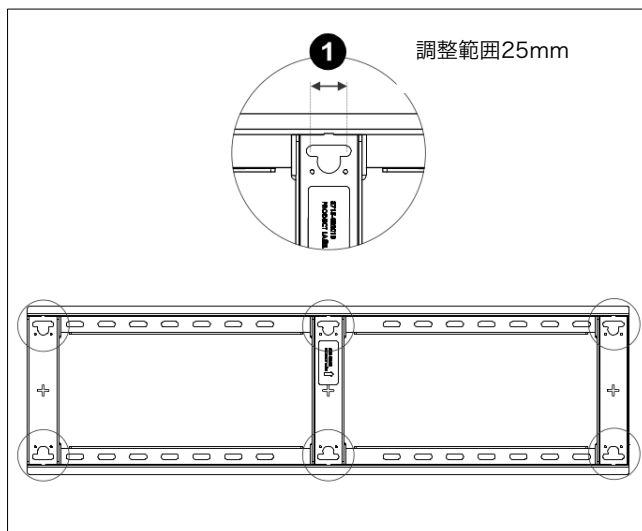


【図-13】

■ 調整方法

■ 水平方向の調整

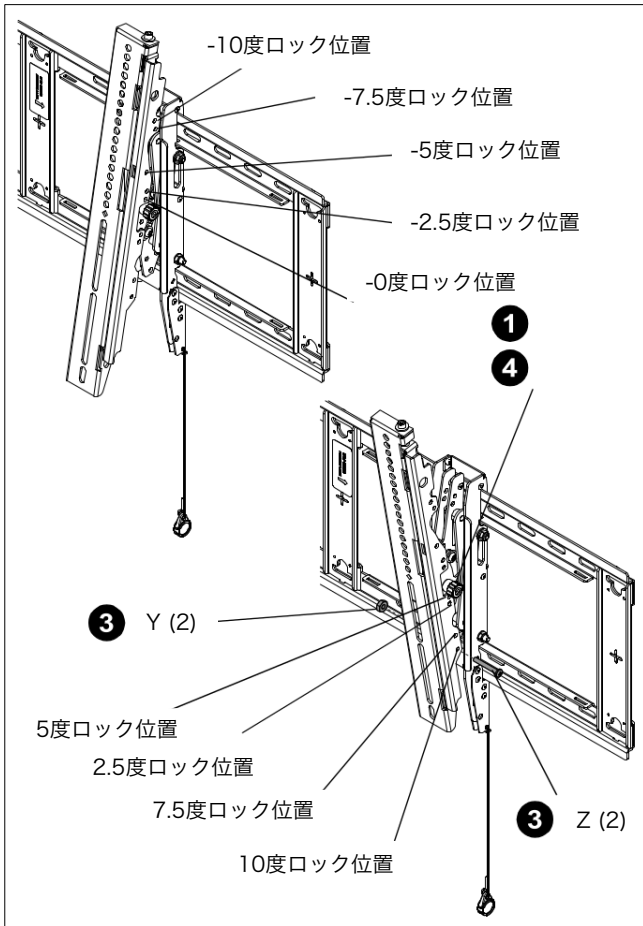
1. マウントウォールブラケットは、取り付け位置で左右に調整することができるよう長穴になっています。(図14参照)



【図-14】

2. ディスプレイは、レールに沿ってブラケット側で左右に調整することもできます。

⚠ 注：インターフェースブラケット (SとT) の両方を、壁面取り付けの中心線の片側に配置しないでください。(図 12参照)



【図-15】

■ ディスプレイのチルト（傾斜角度の調整）
傾斜角度調整機構はRMT3のみとなります

インターフェイスブラケット（SとT）は、-10°から10°のチルトが可能で、-10°、-7.5°、-5°、-2.5°、0°、2.5°、5°、7.5°、10°で常設固定することが可能です。

1. インターフェイスブラケットのノブを緩めてください。
2. 必要に応じて傾きを調整します。（図15参照）
3. 常設など決まった傾斜角度で固定したい場合はインターフェイスブラケットごとに 8-32 x 1.25" ネジ（Z）と 8/32 ナット（Y）を使用して、傾斜角度を -10°、-7.5°、-5°、-2.5°、0°、2.5°、5°、7.5°、10° で固定することが可能です。（図15参照）

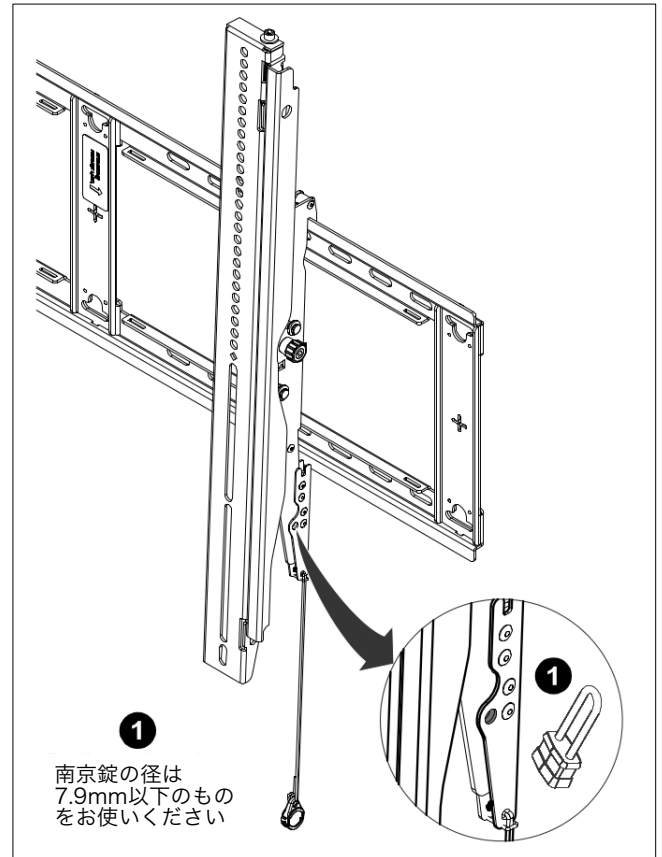
▲ 注：（推奨）モニターを壁掛け金具（U）に付けたままではなく、取り外した状態でロック金具をインターフェイスブラケットに取り付けてください。

4. インターフェイスブラケットのつまみを締めて固定してください。

■ マウントのセキュリティロック（必要に応じて）

1. 必要に応じて南京錠（別売）をインターフェイスブラケットに取付けて、セキュリティ効果を高めることができます。（図16参照）

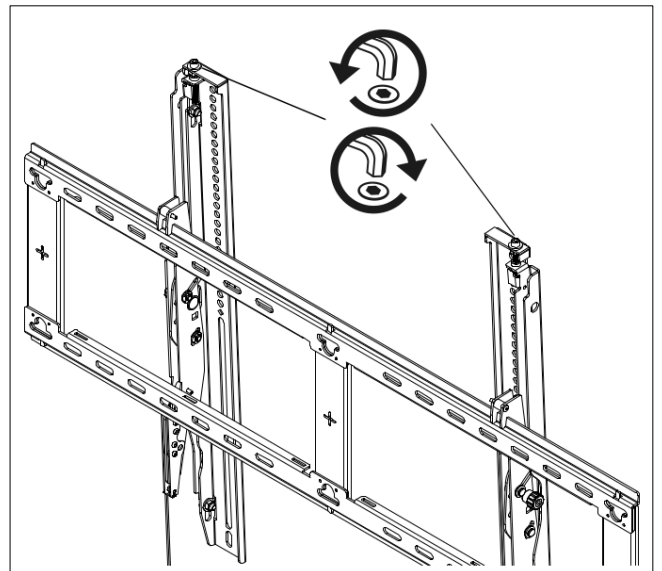
▲ 注：パドロックの最大シャックル径は 7.9 mm です。



【図-16】

■ 設置後の水平レベル調整

1. ディスプレイの水平レベルが傾いていると感じられる場合は、各インターフェイスブラケットの上部にあるネジを回して、モニターの水平を調整します。ネジを時計回りに回すと調整しているブラケットの高さが下がり、反時計回りに回すと高さが上がります。（図17参照）



【図-17】

